

～学校安全・安心支援課メールマガジン～ (2021年4月号)

今年度も月に1回学校安全・安心支援課メールマガジンを発行いたします。タイムリーな話題を簡潔に読みやすくをモットーにお届けします！取り上げてほしいテーマなどがありましたら下記 URL (簡易申請システム) から投稿してください。

【目次】

□気をつけよう！登下校時に潜む危険

□短時間で継続的に行う「人間関係プログラム」本格実施開始

●気をつけよう！登下校時に潜む危険

児童生徒の登下校時には、学校内とは違ったさまざまな危険があります。交通安全の面からは、4～7月の児童生徒の交通事故が年間で最も多く、特に小学校低学年の徒歩登下校中の事故や中高生の自転車通学時の事故の発生が懸念されています。児童生徒への丁寧な指導と併せて、主体的・体験的な交通安全教育を積極的に取り入れ、交通安全意識を高めましょう。県立学校では、4月から自転車通学生のヘルメット着用義務化がスタートしました。今後とも着用の定着に向けた取組をお願いします。

また、登下校中の地震などの災害リスクも考える必要があります。平成30年6月18日の登校時間帯に大阪府北部を震源とする地震が発生し、各地でブロック塀の転倒があり、小学生1名と高齢の男性1名が亡くなりました。登下校中の地震発生時の対応「(モノが)落ちてこない・移動してこない・倒れてこない場所に移動すること、まず頭部を守ること」や地震に伴う津波災害のリスクと避難方法についても指導をお願いします。

●短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」本格実施開始

今年度から全公立小・中・高等学校で、短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」が開始されます。この取り組みを進めることにより、以下のような効果が期待できます。

- ①魅力ある学級・学校づくりの促進
- ②いじめの認知力の向上や早期解決、新規の不登校出現数の減少
- ③教職員の学級経営力の向上

新年度、児童生徒が新たな人間関係を構築するための一助として、各学校で計画的に実施してください。

※人間関係づくりプログラムとは・・・ペアやグループでの話し合いを通して、他者理解や自己理解を促し、自尊感情を高めるための構成的グループエンカウンターや人と関わる力を育むソーシャルスキルトレーニングを集中的にグループで行う活動

実践研究モデル校での取り組みを盛り込んだ実践ガイドを大分県教育委員会ホームページに掲載しています。ご覧いただき、有効に活用してください。

◆短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」実践ガイド◆

https://www.pref.oita.jp/uploaded/life/2121440_3195718_misc.pdf

◎メルマガに対するご意見や取り上げてほしいテーマは以下から投稿してください。

<https://www.egov-oita.pref.oita.jp/vdk9zKeA>

配信元：大分県教育庁学校安全・安心支援課 (URL : <http://www.pref.oita.jp/soshiki/31450/>)